

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成21年度 (2009年度)		授業科目	情報処理
科目基礎情報						
科目番号	0005		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科 (平成25年度以前入学生)		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	入門ANSI-C(実教出版)/独習C(翔泳社)					
担当教員	松浦 史法					
到達目標						
1.Cの歴史と特徴を説明できる。 2.基本データ型の「定数」ならびに「変数」について、それぞれ宣言および各種演算ができる。 3.プリプロセッサ機能を用いてファイルを包含し、またマクロ演算を行うことができる。 4.標準入出力など主な標準ライブラリ関数を用いたプログラムを記述できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	Cを含む情報言語について、変遷と特徴を説明できる。		Cについて、変遷と特徴を説明できる。		あらゆる情報言語について、変遷・特徴を説明できない。	
評価項目2	初期化を含む宣言ができ、演算子を用いた演算ができる。		宣言ができ、演算子を用いた演算ができる。		宣言または演算のいずれかができない。	
評価項目3	プリプロセッサ機能includeおよびマクロ演算を行うことができる。		プリプロセッサ機能includeを用いることができる。		プリプロセッサ機能を用いられない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	産業用ロボットをはじめ、現代の機会の多くは電子化されている。本講義では、プログラミング言語C(JIS X 3010:2003)の基礎的内容を用い、機械系技術者にとって必須となる情報処理技術を修得することを目的とする。					
授業の進め方・方法						
注意点	講義時間外の自学自習は開放時間中の第一電算室を利用する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Cの基礎1		1-1.情報言語の変遷とCの特徴を説明できる。	
		2週	Cの基礎1		1-2.整数・浮動小数・文字の宣言ができる。	
		3週	Cの基礎1		1-3.標準入出力関数を用いて入出力ができる。	
		4週	Cの基礎1		1-4.演算子を用いた演算ができる。	
		5週	Cの基礎1		1-4.演算子を用いた演算ができる。	
		6週	Cの基礎1		1-4.演算子を用いた演算ができる。	
		7週	Cの基礎1		1-4.演算子を用いた演算ができる。	
		8週	前期中間試験		Cの基礎1の内容が修得できている。	
	2ndQ	9週	Cの基礎2		2-1.制御構造if、for,while,switchを用いたプログラムを記述できる。	
		10週	Cの基礎2		2-2.配列の宣言ができ、配列を用いた演算ができる。	
		11週	Cの基礎2		2-2.配列の宣言ができ、配列を用いた演算ができる。	
		12週	Cの基礎2		2-2.配列の宣言ができ、配列を用いた演算ができる。	
		13週	Cの基礎2		2-2.配列の宣言ができ、配列を用いた演算ができる。	
		14週	Cの基礎2		2-2.配列の宣言ができ、配列を用いた演算ができる。	
		15週	Cの基礎2		2-2.配列の宣言ができ、配列を用いた演算ができる。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	Cの基礎3		主な標準ライブラリ関数を用いたプログラムを記述できる。	
		2週	Cの基礎3		主な標準ライブラリ関数を用いたプログラムを記述できる。	
		3週	Cの基礎3		主な標準ライブラリ関数を用いたプログラムを記述できる。	
		4週	Cの基礎3		主な標準ライブラリ関数を用いたプログラムを記述できる。	
		5週	Cの基礎3		主な標準ライブラリ関数を用いたプログラムを記述できる。	
		6週	Cの基礎3		主な標準ライブラリ関数を用いたプログラムを記述できる。	
		7週	Cの基礎3		主な標準ライブラリ関数を用いたプログラムを記述できる。	
		8週	後期中間試験		Cの基礎1・2・3の内容が修得できている。	
	4thQ	9週	Cの基礎4		テキストファイルの読み書きが行える。	
		10週	Cの基礎4		テキストファイルの読み書きが行える。	
		11週	Cの基礎4		テキストファイルの読み書きが行える。	
		12週	Cの基礎4		テキストファイルの読み書きが行える。	
		13週	Cの基礎4		テキストファイルの読み書きが行える。	
		14週	Cの基礎4		テキストファイルの読み書きが行える。	
		15週	Cの基礎4		テキストファイルの読み書きが行える。	

		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	70	0	0	0	0	30	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	